くにみ

【第30号】
昭和35年3月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

こどもを守る運動

……高校生の犯罪三分の一に……

県北地区保護委員会

青少年の不良化は逐年漸増の傾向にあり、県警察の報告によると、昨年中非行のあった少年を補導した数は一一、四八九名で、これは一昨年より一、四六〇名増の戦後最高件数である。更に学生徒の刑法犯は一、三六一名でその八三、四%の一、一三六名が中小学生で、高校生徒の犯罪は一昨年に比べて三分の一に低下している。

近頃の青少年の犯罪の傾向として

(1)都会から農村へ
(2)年令の低下
(3)凶悪化

等あげられることは、たびたび本紙でも伝えられてきたところであるが、県北地区（二本松以北）高校在学生の父兄がこの事態を憂え、学校と協力して子弟を現下の不良化から保護し、暴力、恐かつ等の行為から守り、正しい健やかな成長を助けるため、保護委員会を結成した。

この委員会は、昨春結成以来日なお浅いのであるが、生徒教師との懇談に、街頭の補導に、着々その成果を収めている。特にこの三月は、卒業、就職、入学、進学等、生徒にとってはほんとうにあわただしい時期であり、事故の一番起りやすい時であるので、補導の万全を期するため、三月を「補導強調月間」と定め、綿密な計画を立て、関係機関の協力のもとに日夜活動している。

わが国見町には、四〇〇名かからの高校生徒がいるわけであるが、限られた委員だけでは到底手がまわりかねるので、各家庭はもちろん、地域社会みんなでこの仕事に協力していただきたいものと望んでいる。特に別項、県北地区生徒指導主事、長田先生の補導に関する「反省のしおり」など大いに参考にしたいものである。

反省のしおり

1、親の関心について

○子どもが物事を正しく判断し、美しく強い意志をもつ様に努めておられますか
○子どもが、どんな友達と交わり、どんな映画を見、どんな本を読んでいるか御存知ですか
○子どもが、どんな事にどの位お金をつかっているか御存じですか
○子どもが、どんなもち物をもっているか御存じですか
○子どもが、どこに外出し、いつ帰宅しているか御存じですか
○子どもが、誤りを犯している時、愛情と自信をもって直してやることを忘れておられませんか

2、家庭のふんいき

○あなたの家庭には暗いもめごとがありませんか
○あなたは、子どもの心をきずつけるようなことをしたり、話しあったりしませんか
○あなたは、わずかの時間でも、子どもと話しあうことがありますか
○夫婦関係や兄弟姉妹の関係は円満で人間味があふれていますか

3、親の理解

○子どもを溺愛してわがままにさせたり、物事に耐える力のない人間に育てておられませんか
○子どもをおさえつけるばかりで、よいところを伸ばしたり、意見を尊重してやることを忘れておられませんか
○気分にまかせて子どもをかわいがったり、比較したりなさいませんか

4、みんなの協力

○あなたは、先生といつも連絡をとっておられますか
○自分の子どもさえよければ他人の子どもはどうでもよいと考えておられませんか
○自分の子供のことを他人から忠告された時、かえってしませんか
○小学校の子どもも、中学校の子どもも、高校の子どももわけへだてなくめんどうを見て守ってやりましょう
○青少年補導保護の仕事をしている人や、施設機関についての理解を深め、協力を仰ぎましょう

5、こんなことが病気（不良化）のしるし

○何となくおちつかず、そわそわして、親と話したがらない。あるいは逆に、うまいことをいったり、調子のよい態度を示す
○学業成績が急に悪くなる
○金づかいが荒くなる
○服装に気を配るようになり変ったかっこうしたがったり、おしゃれをしたがる
○学校をサボったり、早退したりする
○夜間外出する
○やたらに反抗する
○親の気のつかないような悪いことや遊びを外でやっている
○飲酒、喫煙をする

正しい愛情とよい生活環境さえあれば、多くの子どもは間違いなく、すくすくと伸びております。余り神経質に子どもをうたがいの目で見ることはつつしみたいと思います。しかし、過信と放任と閉鎖的な自分よがりは、子供にとって、決して幸福にはならないと思います。

校外補導に一役

（日曜ごとに）絵の指導

石原見雲さんは錦町の自宅に画塾を開き、毎週日曜日に町内の子どもを集めて絵の指導をしている。子どもは元来絵をかくことがすきなのだが、いろいろの抵抗でかけなくなる。その抵抗をときほぐしてすなおにのびのびとかかせることが人格形成に大いに役立つので、絵を指導することは決して画家をつくるためでなく、あくまで人間指導の一端としてやるとは氏のことばである。

議会だより

二月臨時町議会

（議長選挙の件など審議）

二月二十五日町議会臨時会が開かれ、会期は一日、議案は次の通り

日程第一　議長選挙の件
大沼西治議員指名推選により当選
日程第二　専決処分につき承認を求める件
昭和三十四年簡易水道特別会計歳出更正予算の専決事項で水源地電話架設のための更正で原案通り可決される

昭和三十四年度町税完納運動実施について

只今町では右のことについて積極的に運動を展開しておりますのでご協力をお願い致します。

完納運動実施期間
第一次　十二月一日～一月卅一日
第二次　二月一日～三月三十一日

財政再建計画の結了期でありますので滞納税納付に特段のご配慮をお願い致します。

老令・障害・母子 344＋30＋26人

四〇〇人に百六十六万円

孫のボックスを買うおばあさん

指折りかぞえて待っていた福祉年金の第一回分が、三月三日桃の節句に支給された。こんどは昨年十一月から今年の二月まで四ヶ月分で一ヶ月につき

○七十才以上の老人　千円
○身体障害者　千五百円
○母子（母一人子一人）世帯千円

子一人増すごとに二百円増

本町で当日までに裁定になり証書の交付を受け、年金を受取られた方は、合計四百人で金額百六十六万余円である。

長年月社会のために働いて、尊とい生命をすりへらして来た老人や思わぬ災害などで身体をそこねた人、或は杖柱とたのむ夫をもたぬ母親などに対し、大きな慰めになることであろう。

満足な身体をもった壮年者でさえ生活の容易でない現在である。社会福祉の仕事は民衆の総力によって推進したいものである。

ところで、年金を受取った二日後、二キロ余の道を歩いて町にやって来たという七十三才のおばあさんに会った。

「農家のとしよりは、お金など何も入らないのでしたくさんの年金をいただいてほんとうに有難いです。一ぺんに使ってはもったいないので、半分は貯金し、これから孫のボックス一枚と私の上張りにするニコニコ

人生学校

ごくらく探訪

（新しい心の国づくり）

春日佑幸

いわゆる地獄や極楽が遠いあの世のことならばまだ確在な人間に興味のすくない問題だもし本能　満足を人生無上の快楽ときめているならあわれにもスフィンクスになったのだ心のかてが不足して、金さえあればごくらくときめてかかっている人は金色夜叉の親類だ親子も夫婦も兄弟も近所となりもむつましく手をとりあってくらすならそこがそのままごくらくだその反対にお互いが角つきあいをしていたらこの世の中が永遠のじごくになってしまうのだじぶんひとりが世の中のよい子になろうとあせるから　あたりほとりをつつきたてたてんやわんやがたえぬのだくらがとなりにたったときどうして腹をたてるのだ

ひとの名誉や幸福をどうしてそんなにおこるのかそれはたがいの幸福のありかもしらずあわれにも求めてじごくの釜におちあの世のことはあとにしてこの世にこのままごくらくにしあげるくふうを忘れたらじごくに生きているわけだほとけも名誉や財産をわるいときめてはいないのだただそれだけにこだわってじごくに行くなとさとすのだ

寄附返上運動後日物語り

ゴム風船が破裂したみたいにひとしきりさわがれた県農事試験場寄附返上運動も、冷静になって考えてみるとなんのことはない。六十年前につくったおんぼろ試験場を、早く改築し、近代的に拡充しようとする県民運動を、農民の側からおこしたのだ。当の受益者である農民が反対するのはちっとおかしい。それも大した金ではない。一反歩当り米五俵にもっかない。

増収品種を育成して一年早く普及してもらったら、何倍かになってもとって来る。昔反収六俵だったのが今七～八俵になったのはいったい誰のおかげか。これまで永い間いぶんご厄介になっていることを考えると少しは恩返しをしたいもの。

誰だって余計な金は出したくない、しかし税金だけで世の中がもてない位のことは誰でもわかっている筈の大人が子どもらの一方的な迷論につかれてさわいでみたが、何だかおかしいと早くも気がついた人たちは、どんどん寄附金を納めている。もちろん寄附は、自由意志で出すべきものだろう。然し受益者が当然出すべき負担金の性格のものもある筈で、公平な負担の目標を示すことも決して排すべきことではない。

とにかくわが町の寄附も、すでに目標の九割を突破しているということは、わが町民の良識の低からざるを示すもので、まずはおめでたいことである。

もう一いきで無電話部落解消

わが国見町では、新町建設計画の一環として、各部落に電話を架設することに努め、昨年は貝田（松浦真商店七八の甲）光明寺（斎藤善蔵商店七八の乙）の両部落に設けられたが、ことしは左記四ヶ所に開通し、先日盛大な開通祝賀式を行なった。尚残る内谷、泉田の両部落も速かに架設されるよう、地域民と協力、準備中である。

塚野目斎藤彦衛方　一六五
徳江　村上公月方一七一一五
大木戸鈴木誠之助方　一七五一
水源地　一七五五

駅前通りの舗装に着工

協賛会を作り地元の熱意を示す

かねて町民待望の、局前から藤田駅までの舗装工事が始められ、みんなをよろこばせている。これは全長七〇〇㍍、町内で最も交通の頻繁なところで一日も早く舗装されることを望んでいたが、このほど長並に町当局の取計らいで差当り本年は局前―藤田劇場（一〇〇㍍、工費一八〇万円）四月末完工をめざして目下突貫工事中である。尚残り五〇〇㍍は、三十六、三十七両年度に施工される予定である。

これに対し、地元では「藤田駅前道路舗装工事協賛会」を設立し、負担金の賦課方法その他並に役員廃間を決定、これが全線一日も早く実施完工されることを強く要望すると共に、全面的に協力することになった。尚役員次の通り

会長　佐藤吉郎
副会長　谷津藤治
庶務　秦　作蔵
委員　三品　晋
顧問　三十八名
国見町長　赤井畑直衛
企議会議長大沼　酉治
企商工会長武田　文治

会長佐藤吉郎氏談

私より申上げるまでもなく全線舗装完成されたならばわが国見町の玄関口も面目一新、朝夕長蛇の列をなす通勤通学者を含む一般町民も長年の泥水飛沫の惨害より脱れ、更に小坂線の改修完通のあかつきには、駅前通はもちろん、国見町全体の発展に資するものと確信致し、尚工事中は何かと御不自由、御迷惑の点多々ある事と思いますが、何分の御協力をたまわるようお願い申上げる次第であります。

「政治教室」ひらく

○主催　国見町連合婦人会
○時　三月十五日
午前九時半
青年研修所
○所
○主題及講師
1 安保条約問題
民友開新社
斉藤英記先生
2 婦人会のあり方
県婦人行政課
古宮千代先生
○参加者
単位婦人会及部落役員会やグループ
各種委員会やその他希望者

◎時間励行……集会は定刻五分前に到着するよう　◎火の用心……出して消すより出さぬがてから

◎おたがいに人の話をすなおにききましょう

火災見舞御礼

弥生の季節となり紅梅の花ほころびる此頃、町内の皆々様益々御多祥の段心から御喜び申上げます。

去る二月五日公立藤田綜合病院火災の際はいち早く御かけつけ下され、消火救助に御尽力いただきましたこと厚く御礼申上げます尚この度は、町民皆々様方の厚き御厚志により御見舞の金品多数頂戴いたし、且つ町内の皆さんを代表されて宇田厚生課長さん並に高橋婦人会長さんより、御ねんごろないたわりとはげましの御言葉をいただきまして患者一同感涙をもつて衷心から厚く厚く御礼申上げている次第であります。

苦しい斗病生活の上に被災という、思いがけない二重の災難に、身心共に打ちのめされ毎日暗い淋しい気持でございましたが、町内の皆様を始め当病院の職員の方々、各地の療友そして有志の方々より、力強い励ましの御言葉をいただき、前途に明るい光明と希望を認め、心も日増しに明るく笑顔を取りもどしつつあります。これひとえに皆さんのあたたかき慈愛の賜と深く感謝いたしております。

この上は一層療養に専念いたし、一日も早く全快いたし、御厚恩におむくえいたす気持で胸が一ぱいです。

この感激を永久に忘れず「くにみん」紙上をお借りいたし、深く深く感謝の意を表すると共に、皆様の御健康と御繁栄をお祈り申上げ、御礼の御挨拶と致します。

昭和三十五年三月六日

藤田療友会
災害対策委員会
町民の皆様

尚左記の金品まことに有がたく頂戴いたしました。

記

一金五万四百三十円
一物品
手拭　一一九本
ふろしき　七枚
石けん　一五個
白米　四升
ちり紙　二束
皿　九枚
バスタオル　一枚
ズロースその他　二枚

グループ活動の反省と評価

よりよい仲間づくりの為に

何事についてもそうですが、グループも、それが発展してゆくためには、つねに反省され、もしわるい点があれば、どんどん改めていくというおたがいの努力が必要です。その場合、ただぼんやりと反省するのではなく、ある尺度ではかり、その結果によつてこれを行なうことがのぞましいのです。これを評価といいますが、これによつて、自分たちはどんな勉強ができたか、どんな活動をしたか、それが成功したかどうか、もし失敗したとすればそれは何故かなどを知り、次の活動への参考とするわけです。もちろんこの評価は、グループの全員が行なうのであつて、幹部や監督者みたいな人だけがこれを行なうものではありません。

次にグループ評価のなかみの主なものをあげてみましょう。

一、目的

(イ)あまり大きなものをかかげすぎてはいないか。
(ロ)ぼんやりしていて、はつきりしないのではないか。
(ハ)あまりよくばりすぎてはいないか。
(ニ)みんながよくそれをしつているか。

二、会則

(イ)みんなの意見をあつめて作られたか。
(ロ)あまり難かしい文句をつかいすぎてはいないか。
(ハ)むだなことが多く加えられてはいないか。
(ニ)みんなよくそれをしつているか。

三、運営

(イ)特別の人の力が強すぎはしないか。
(ロ)分担の仕事がかたよりすぎてはいないか。
(ハ)事務がうまく行われているか。
(ニ)会員と役員とのあいだはよくいつているか。
(ホ)委員会活動はよいか。

四、役員

(イ)みんなの意見でえらばれたか。
(ロ)信用できる親しみやすい人であるか。
(ハ)計画性のある人かどうか。
(ニ)議事のすすめ方などをよく知つているか。

五、事業

(イ)グループの目的にそう事業であるか。
(ロ)計画にはみんなの意見がよくとり入れられているか。
(ハ)行事の数とかその量は適当か。
(ニ)みんなの負担になりすぎるという点はないか。
(ホ)会員の必要とか能力に適しているか。

六、会合

(イ)会員の自主的な運営が行われているか。
(ロ)出席率、発言率はよいか。
(ハ)みんなの必要と希望がみたされたか。
(ニ)レクリエーションが適切にとりいれられたか。
(ホ)講師、指導者は適当であるか。

七、広報

(イ)グループの趣旨をみんなによくしらせるのに適当な方法をとつているか。
(ロ)いろいろな集会や行事をよく活用しているか。
(ハ)掲示板や回覧板もよく利用されているか。
(ニ)地域や職場の報導機関などとよく連絡をとつているか。

八、調査

(イ)みんなの意見や希望がよく調査されているか。
(ロ)地域又は職場の実態の基礎調査が行なわれているか。
(ハ)調査の結果がよく活用されているか。

九、会員

(イ)会員数とその生活実態をよくとらえているか。
(ロ)会員が増しつつあるか、減りつつあるか、その理由は？
(ハ)会合への出席はよいか。
(ニ)会費の納入はよいか。
(ホ)行事、集会に協力しているか。

十、経理

(イ)会費はいくらで、納入の状況はどうか。
(ロ)収入、支出は適正であるか。
(ハ)帳簿は整理され、会計報告は行なわれているか。
(ニ)予算決算のなかみを会員はよく了解しているか。

以上反省評価されねばならないグループ活動の項目をあげましたが、その方法としては、まず会員一人一人が反省してそれを記録する方法、みんなでいつしよに話しあう方法、評価表に記入し、それを集計する方法などがあります。要は、あまりかたちだけのものにならず、一人一人がよく考えて、心から反省し、わるいと思つたことは、どしどしこれを改めてゆくことです。

（グループ事典より）

森江野夫妻学級卒業式

……落第希望者続出に閉口……

同窓会結成で納得

民主的教養をめざして、昨年一月始められた森江野夫妻学級は、予定の課程を終り、今月十三日午後一時より小学校礼法室で閉講式を挙行した。佐藤公民館長より二十一組の生徒夫婦に対し卒業証書を授与、来賓祝辞、総代答辞で式を終り、次に協議に移る。

協議事項

一、落第希望者がたくさんあるが、何れも成績優秀で、且つ第二期学級編成の都合上落第は認めず、そのかわり同窓会を結成し、年四回程度定例会を開くことにして一同なつとく。

二、第一期生としての反省や評価を出して記録をつくること。

三、第二期生の募集に協力する。この申込状況をみて、推せん決定する。

最後に謝恩会に移る。祝辞。謝辞、一組必ず一回の余興もすんで会食、暮れゆく春の日を惜しみながら閉会。

尚級長佐藤新七氏は次のように語つた。

「今年で卒業することなしに、落第してまだまだ続けたいという希望が、みんなから出て困りました。しかし、残り惜しいところで、この楽しい学習を、地区内の皆様にわかつのも意義深いことではないかと思いなおしてもらい、ようやくなつとくしたのです。雨の日や嵐の夜も手をとりあつて通つたかずかずの思い出。そしておかげで家庭の中は明るく、夫婦や親子の間は何でもいいあえる、楽しいものとなつた夫妻学級の学習の効果、隣近所からは仲良し夫婦といわれるようになつたのもこの勉強のおかげです。また、大人同志で知りあいや心からの友達夫婦ができあがつたことは、永くつきない喜びとして残ることでしょう。」

結核検診五年を顧みて

本年度の一般住民結核健康診断も皆様の御協力によつて、滞りなく終りました。この事業を始めてから、五年を経過し、一応第一期計画年度を了えたわけです。本年度は、受検率九七%で、昨年より一%落ちましたが、この仕事を始めた当時からみますと、町民の方々の受検意欲も格段の相違で、一部僅少の人々を除いては、皆様方が、自分の健康を通して、町全体の健康を図るという深い御理解のもと、すすんで受検される傾向になつてきたことは、国見町健康福祉増進と、防貧対策の上にまことに喜びにたえません。

過去五ケ年の事業の実績を顧みますと、五ケ年の平均受検率は、やはり九七%となつています。又発見された患者さんは、昭和三〇年七六人、三一年二一人、三二年一三人、三三年六人、三四年五人と著しく減少し、この延べ発見患者数は一二二人ですが、この治癒状況は、目下調査中ですが、卓越した近代医学の進歩技術によつて、およそ三分の二はなおり、現在治療を要する患者さんは三分の一程度に減少しているようです。

発見された患者さんとしては一時、精神的にも、経済的にも相当つらい闘病生活をつづけられたことと御推察申上げますが、早期発見のため、短期間に治られた方も多く、今となつて、この方々にたまたまお会いした折など、非常に感謝されておりますが、私たちは、こんなとき「ああ良いことをしてあげた」とよしじみ嬉しくなります。もちろん国策であり、町条例にもとずくこの事業は、来年度以降も継続して行なうことになりますが、第二期計画五年の後には、完全に国見町からこの病気を駆逐したい悲願にもえている次第です。

どうぞ関係機関の方々並に町民の皆様の変りなき御支援と御協力を願つてやみません。

（厚生課長早田盛）

【写真は】
（上）…小坂地区
（下）…石母田地区
の各検診風景

働きながら学ぶ

桑折醸芳高校生徒募集要項（抜）

一、本校の教育目標
働きながら学ぼうとする男女青年に対し、生活と教育の一体化を図りつつ、実情に即した特色ある教育を施すことにより、科学技術を体得せしめ、郷土の産業振興に寄与し得る青年を育成する。

二、入学資格
中学卒業

三、出願方法、期日など
出身中学校で聞かれたい

四、入試方法
中学校からの調査書によつて選考する

五、募集人員
農業課程　（男）二十名
家庭科課程　（女）二十名

六、修業年限
男女共　二ケ年

七、調査書提出締切日
四日七日

八、選考日及び合格者発表
四月八日選考
四月九日本人宛に通知

九、授業日
四月から十一月まで　週三日以上
十二月から三月まで　週五日以上

十、費用
1、入学時
教科書代　一〇〇〇円
入学金　一〇〇円
四月分授業料二八〇円
その他　一七〇円
計　一五五〇円
2、毎月
授業料　一〇〇円
PTA　一〇〇円
生徒会　八〇円
計　二八〇円

農山漁村建設事業

（さあ、ことしもみんなでがんばりましよう）

年々農道や共同集荷所などをつくつて、新時代にふさわしい町づくりに努めてきたわが国見町では、更に三十五年度の計画を立てるべく、去る三月三日、農村振興協議会を開いて審議した結果、次のことが決つた。

まず、小規模土地改良事業としては、（カッコ内は事業費総額概算）

(1)森江野地区の灌排水（一六万円）
(2)小坂地区土地改良区の農道五〇〇㍍（七五万円）
(3)大枝地区土地改良区の農道四〇〇㍍（四〇万円）

次に石母田の伊達果実農協では三五〇万円で共同防除施設をする。これに対しては国庫補助一四〇万、公庫融資一六八万円が見込まれている。

次に共同集荷所としては次の二つが決つた。

(1)泉田上部落二〇坪（四一万円）
(2)徳江北部四二坪（五三万円）

以上六件、事業費概算総額六〇七万円に対し、国庫補助が二〇七万円、公庫融資二九二万円が見込まれ、残る九八万円が自己負担ということになるので、政府がいかに農村振興に力を入れているかということがわかると共に、地元民の熱意こそ自分たちの幸福を呼ぶ鍵であることも考えられるのである。

伊達管内青年研修講座

第一期終り第二期生募集

昨年七月十六日開講したこの講座は本月十一日をもつて終了し、来年度の受講生を募集することになつた。募集要項昨年通り、尚本年度の終了生次の通り

佐藤春夫、仲野良子、岩城重夫、斎藤好子、佐久間宮子、半沢博、阿部重正、渡部ハル子、瀬戸孝、鈴木ミエ

編集後記

○皇孫殿下御誕生記念事業を考えましよう。

「おちいさん、おばあさんが青年時代に泊りがけで植えてくれた杉の木」などといわれる仕事を残すのも愉快ではないか。

（国土緑化運動）

○三月は年度替わりのとき、まず会計報告は正しく役員の交代はすつきりと、そして団体員一人一人の幸福を第一とした事業計画発展する団体、衰退するグループのわかれめはこのへんにあるらしい。

○青少年不良化年令低下の傾向、いわれるまでもない。火事、泥棒や交通事故もおそろしいが、子どものできそこないは更にみじめである。

（青少年補導協調月間）

○老令年金でまず孫へのおみやげ、若妻学級、青年学級への生きた教科書。

○祝社会学級終了
青年学級
若妻学級
婦人学級
夫妻学級

これに老人学級父学級ができれば、国見町の社会学級の体系完成というところ。